



オフィス



F-32

<施設の概要>
 所在地：兵庫県神戸市中央区三宮町1-10-1
 建築面積：1,200㎡
 延床面積：11,925㎡
 構造：地下1階地上10階、鉄筋コンクリート造
 建築主：神戸地下街(株)
 設計監理：(株)日建設計
 施工：建築/鹿島・フジタ共同企業体
 電気/(株)中電工
 工期：平成7年4月～平成9年6月

万一の震災を考えた 照明設備が信頼を生み出す。

Lighting facilities with a disaster prevention scheme assures people's reliance

震災対策として、落下防止処理を施したHfシリーズを採用。

As a disaster prevention measure, Hf series lighting equipment with fall-prevention device is adopted

神戸・三宮を代表する建物として親しまれてきた神戸交通センターは、阪神・淡路大震災で5階部分が押しつぶされ、損壊に至りました。そのため平成7年4月から復興工事に着手し、平成9年6月に完成、三宮のシンボルの一つとして蘇りました。新ビルは1階と地階部分を補強し2階以上を建て直し、震災前よりも一層増えた地上10階地下1階の規模を擁しています。フロア構成は地階が店舗、1～2階はコンコースと旅行代理店、3～8階部分がオフィスで9～10階は飲食店舗となっています。また、船をモチーフにした外観やブリッジにみだた最上階など“復興に舵、希望の船出”をテーマに設計されています。照明設備は、阪神・淡路大震災の経験に基づいた十分な安全性の確保と、一時も早い復興に貢献した工期短縮の実現をコンセプトとしています。オフィスフロアにはシステム天井を採用し、万一の震災時に備えて脱落防止処理を施しています。照明器具は器具厚が薄く軽量のHfメロウライン32W1灯用埋込形(下面開放)を1.8m間隔のライン配置にして、すっきりと明るい空間を形成しています。Hf-Lcoシリーズの採用により、容易な工事の取合い、最小限の器具台数ですみ、初期平均照度は750lxを確保しています。また点検用設備プレートは、震災時に落下しないようTバーに固定したチェーンにセットした安全設計・施工となっています。

照明コンセプト

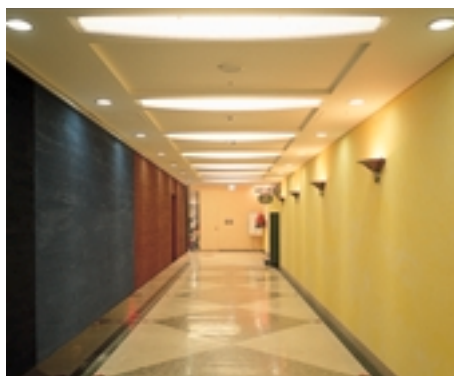
Lighting design concept

万一の震災時に備えた十分な安全性の確保
 工期短縮の実現で一時も早い復興に貢献
 省エネで明るい器具の採用



1F 連絡通路 特徴的な天井意匠がアクセントとなっている。
 Connection passage on 1st floor

F-33



レストランフロア
 Restaurant floor

F-34



店舗フロア 暖色光により、落ち着いた空間を形成。
 Store floor

F-35



オフィスフロア Hf-Lcoシリーズ/システム天井用器具により、明るさと省エネを実現している。
 Office floor

F-36



システム天井(オフィスフロア) F-37
 System ceiling of the office floor
 チェーンによる落下防止処理を施した点検用設備プレート。

主要照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
オフィス	Hf-Lcoシリーズ/システム天井用器具	特注器具	1636	FHF32W x 1
店舗	ダウンライト	FDL-2762BW	365	27Wユースライン 2
1F、B1通路	Hfシリーズ	FHT42000K1	158	FHF32W x 2